

75歳以上医療費窓口負担2割化実施 3年後のアンケート調査



2025/9/26

全日本民主医療機関連合会

問合せ TEL. 03-5842-6451

社保運動・政策部 調査プロジェクト

鹿又・番場・富岡・山本・酒井・濱野

当事者の声

「90才になりました。今になって医療費が上がる様では長生きしなくてもと考えさせられます。年寄りには早くあの世に行けと云うのでしょうか」

「長生きしすぎたと思っています。気軽に医療を受けられなくなるのは困ります。だからと言って死ぬ（自殺？）わけにもいきません」

「早く、天に召されます様、祈るのみ。家族に迷惑かけない様にする」

調査概要

1. 調査目的

主に2割負担になった75歳以上の高齢者を対象としてアンケートを実施し、医療費の窓口負担の負担感及び受診抑制等の受療権への影響、暮らしへの負担増、2025年9月末終了の配慮措置や、政府の今後のさらなる負担増の検討に対するアンケート調査を実施し公表する。

2. 調査対象者

医療費窓口負担2割の75歳以上の高齢者

ただし、1割負担や3割負担、74歳以下の方から寄せられた回答についても別途報告する。

3. 調査期間

2025年1月～3月の3ヶ月間

4. 調査方法

全日本民医連が作成したアンケートの回答用紙を使用。全日本民医連の加盟事業所の患者・利用者、家族等に調査への協力を呼びかける。今回はGoogleフォームアンケートも併用。

アンケートの設問

1. あなたの年齢(2025年1月1日現在)で当てはまる方にチェックして下さい。

75歳以上 74歳以下

2. あなたの医療費の負担割合で、当てはまるものにチェックして下さい。

1割 2割 3割 その他

3. 2022年10月以前の医療費の負担感について

とても重い 重い 普通 軽い とても軽い

4. あなたは、2022年10月から窓口負担が1割から2割に増えましたか？

はい いいえ

5. 医療費が2割になってからの負担感について

とても重い 重い 普通 軽い とても軽い

(調査名:) (回答番号:)

<75歳以上医療費窓口負担(2割化実施後)アンケート(第2弾)>

敬請府県()

1. あなたの年齢(2025年1月1日現在)で当てはまる方にチェックして下さい。
75歳以上 74歳以下

2. あなたの医療費の負担割合で、当てはまるものにチェックして下さい。
1割 2割 3割 その他

3. 2022年10月以前の医療費の負担感について、当てはまるものにチェックして下さい。
とても重い 重い 普通 軽い とても軽い

4. あなたは、2022年10月から窓口負担が1割から2割に増えましたか？
はい いいえ 記入を促して終了です。

5. 医療費が2割になってからの負担感について、当てはまるものにチェックして下さい。
とても重い 重い 普通 軽い とても軽い

6. 医療費が増えたことで、当てはまるものにチェックして下さい。(複数回答可)
か今まで通り受診している か受診をためらうようになった
か受診回数・薬を減らした か非医療費用を削った
か受診・検診をやめた か医療費を削った
か生活費を節約している か収入を削った
か趣味をあきらめた か貯蓄を切り崩している
か生命保険を解約した これ以上、切りつめられない
か家族に支障してもらった 今のままでは受診できない

7. 3年間の医療費(自己負担)として、医療費が公平以上と感じない希望が寄せられた。2つ以上の医療機関や薬局を利用する場合、高額療養費の手続きが必要でした。高額療養費の手続きについて当てはまるものにチェックして下さい。(複数回答可)
か手続きしなかった か手続きした
か手続きの仕方が分からなかった か手続きが複雑で戸惑った

8. 2025年9月末で医療費控除が終了し、完全2割負担となります。当てはまるものにチェックして下さい。(複数回答可)
はい、今まで通り受診できると思う か受診できなくなるかもしれない
か受診回数・薬を減らすと思う か受診できなくなると思う

9. 政府は、75歳以上の医療費窓口負担2割化を進めています。もし、あなたが断食食になるとしたら、当てはまるものにチェックして下さい。(複数回答可)
はい、今まで通り受診できると思う か受診できなくなるかもしれない
か受診回数・薬を減らすと思う か受診できなくなると思う

10. 医療費が暮らし向きについて自由にお書きください。裏面に自由にお書きください。

以上です。ご協力ありがとうございます。

6. 医療費が増えたことで、当てはまるもの全てに☑チェックして下さい。(複数回答可)

- ①今まで通り受診する ②受診をためらうようになった ③受診回数・薬を減らした ④介護費用を削った
- ⑤ 健診・検診をやめた ⑥食費を削った ⑦水光熱費を節約している ⑧交際費を削った
- ⑨趣味をあきらめた ⑩預金を切り崩している ⑪生命保険を解約した
- ⑫これ以上、切りつめられない ⑬家族に支援してもらった ⑭このままでは受診できなくなる

7. 3年間の配慮措置として、医療費が3千円以上増加しない措置がとられました。

手続きについて(複数回答可)

- ⑮手続きしなかった ⑯手続きした ⑰手続きの仕方が分からなかった ⑱続きが複雑で戸惑った

8. 2025年9月末で配慮措置が終了し、完全2割負担になります。当てはまるものに☑チェックして下さい。

(複数回答可)

- ⑲今まで通り受診できると思う ⑳受診できなくなるかもしれない
- ㉑受診回数・薬を減らすと思う ㉒受診できなくなると思う

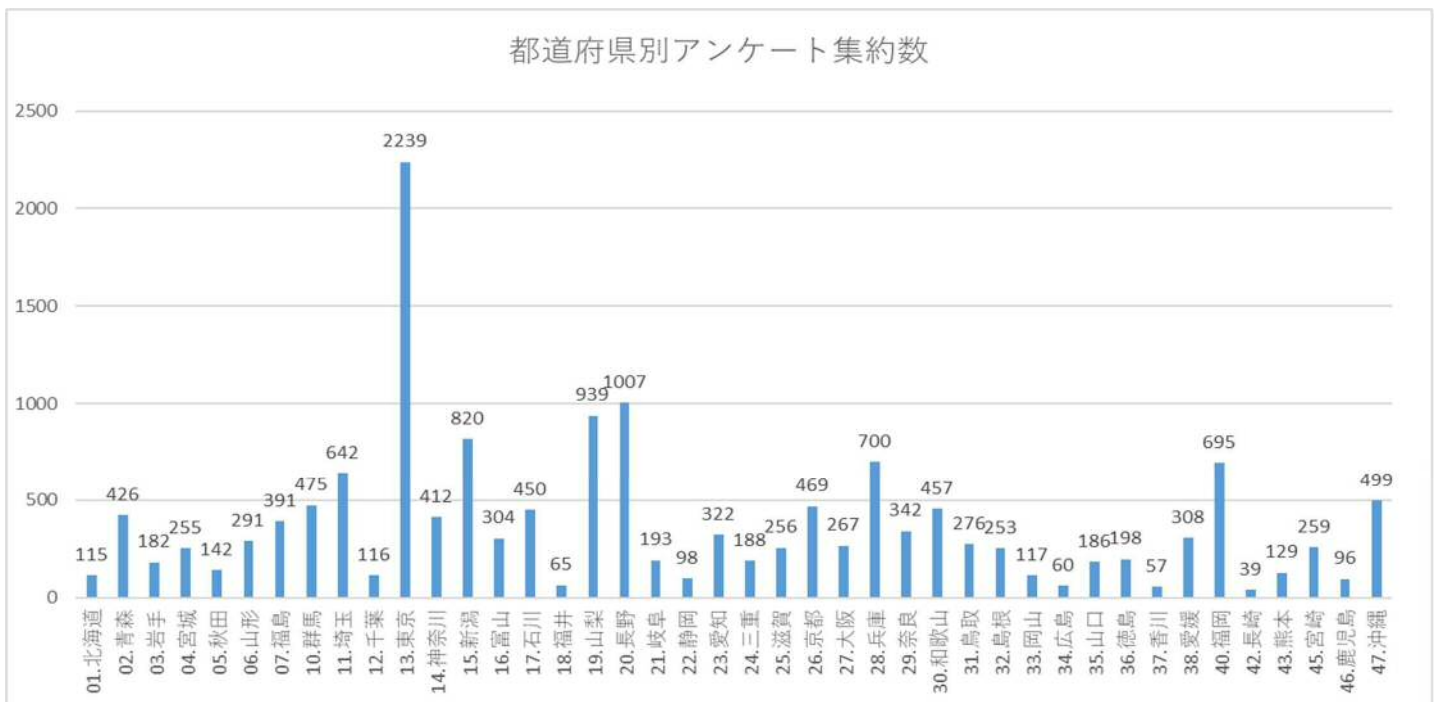
9. 政府は、75歳以上の医療費窓口3割負担になる対象者をひろげようとしています。当てはまるものに☑チェックして下さい。

(複数回答可)

もし、3割負担になったら(複数回答可)

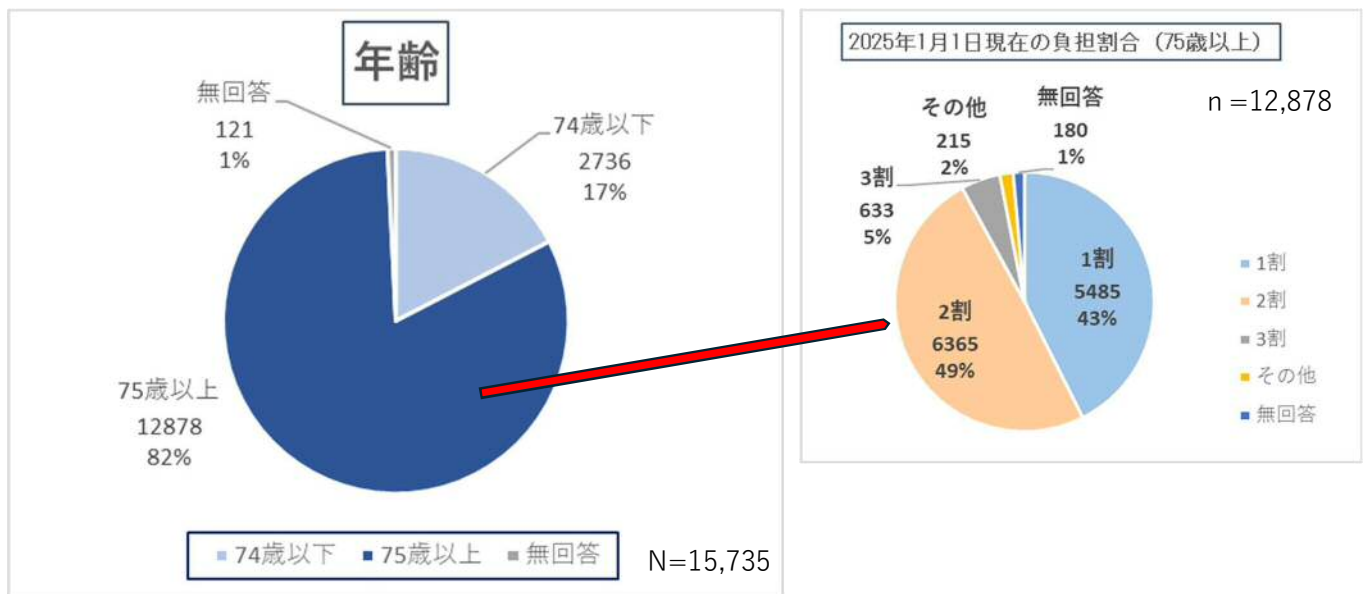
- ㉓いままで通り受診できると思う ㉔受診できなくなるかもしれない
- ㉕受診回数・薬を減らすと思う ㉖受診できなくなると思う

都道府県別回答数 15,735件 (42都道府県)

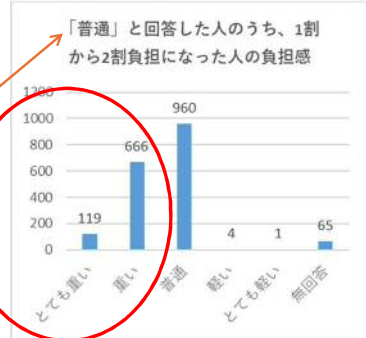


	県連別回答数								
	集約数	75歳以上	74歳以下	無回答		集約数	75歳以上	74歳以下	無回答
01.北海道	115	107	7	1	24.三重	188	167	20	1
02.青森	426	317	109	0	25.滋賀	256	250	5	1
03.岩手	182	132	48	2	26.京都	469	431	35	3
04.宮城	255	180	72	3	27.大阪	267	231	36	0
05.秋田	142	136	6	0	28.兵庫	700	589	109	2
06.山形	291	240	51	0	29.奈良	342	303	36	3
07.福島	391	362	25	4	30.和歌山	457	343	109	5
10.群馬	475	443	27	5	31.鳥取	276	144	132	0
11.埼玉	642	458	179	5	32.島根	253	166	85	2
12.千葉	116	102	9	5	33.岡山	117	116	1	0
13.東京	2239	1802	418	19	34.広島	60	41	17	2
14.神奈川	412	307	103	2	35.山口	186	185	1	0
15.新潟	820	796	14	10	36.徳島	198	141	57	0
16.富山	304	250	53	1	37.香川	57	56	1	0
17.石川	450	356	85	9	38.愛媛	308	229	76	3
18.福井	65	58	7	0	40.福岡	695	531	157	7
19.山梨	939	696	240	3	42.長崎	39	34	5	0
20.長野	1007	873	127	7	43.熊本	129	127	0	2
21.岐阜	193	169	23	1	45.宮崎	259	200	55	4
22.静岡	98	98	0	0	46.鹿児島	96	90	6	0
23.愛知	322	295	24	3	47.沖縄	499	327	166	6
					計	15735	12878	2736	121

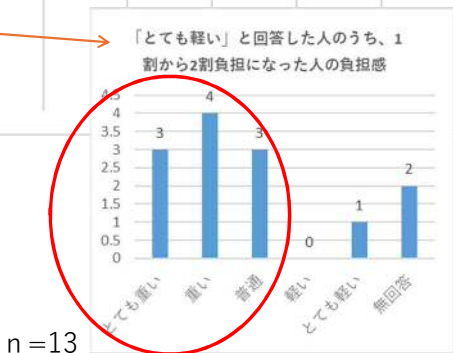
年齢と現在75歳以上の人の負担割合



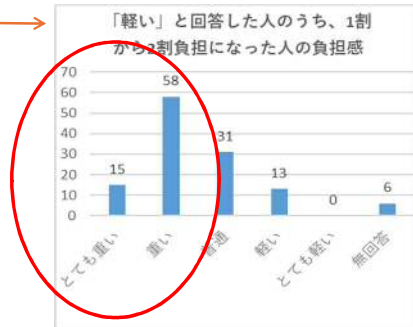
1割から2割負担になった人の負担感の変化



n = 1,815

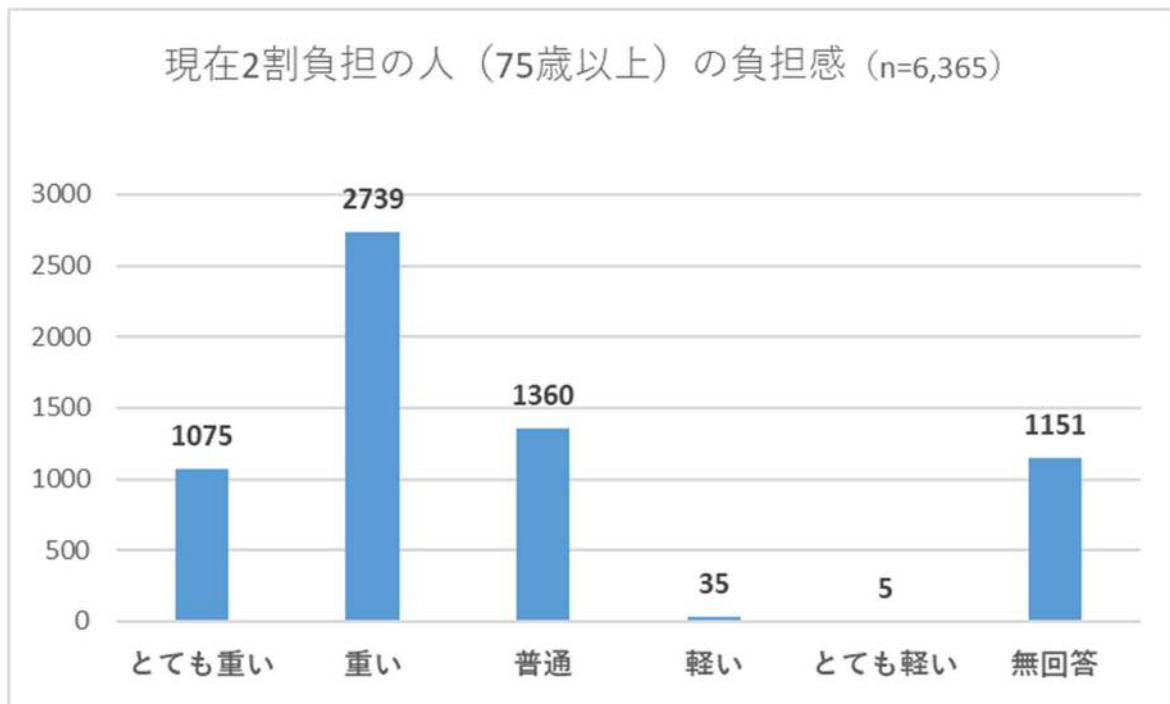


n = 13



n = 123

現在2割負担の人 (75歳以上) の負担感



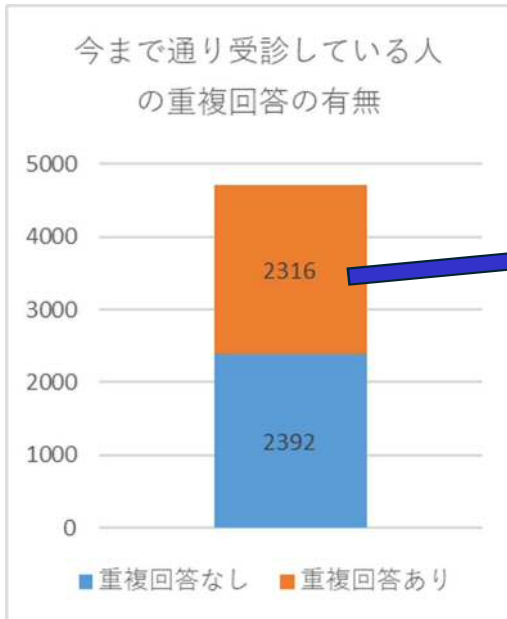
当事者の声（2割負担が重い）

- 2割がこんなに重いとは思いませんでした。受診はするしかない。
- 1割が2割 たったの1割ではない 1000円が2000円 倍になるのですよ。
- 2割負担はとてもきつく、子ども達の支援が必要となる 子ども達も生活がいっぱいなのに
- 生命を維持するために受診しないという選択は出来ない。とても困っている。
年金が目減りしているので収入は少くなるし、税金は高く負担額も増加する一方なので物価の上昇も加わり四苦八苦です
- 病院で『検査』と言われると、金額が心配になります。
- 検査等を減らす。予防措置を減らす。ワクチン等はできなくなるだろう。初期症状の時に診療しなくなる。一番大変なのは手術、入院等が生じた時、生活苦で考える。
- 3割から1割になった時どれだけホッとしたことか。それが又2割になり、さあーたいへん 10,000円札がないと通院出来ません。命とひきかえです。
- 今年の10月90才になります。これで体力が無くなって行動もできなくなり、病気になる事が多くなる。これ以上金がかかると死ぬしかない。

現在75歳以上で2割負担の人の受診動向（複数回答）

	とても重い		重い		普通	軽い	とても軽い	無回答
①今まで通り受診している	806	68.5%	2386	77.2%	1270	29	4	213
②受診をためらうようになった	309	26.3%	331	10.7%	20	0	0	16
③受診回数・薬を減らした	168	14.3%	197	6.4%	25	2	0	11
④介護費用を削った	36	3.1%	29	0.9%	3	0	0	4
⑤健診・検診をやめた	100	8.5%	123	4.0%	21	0	1	5
⑥食費を削った	346	29.4%	385	12.5%	62	1	1	28
⑦水光熱費を節約している	446	37.9%	715	23.1%	124	7	1	53
⑧交際費を削った	395	33.6%	592	19.1%	72	3	1	41
⑨趣味をあきらめた	270	22.9%	315	10.2%	55	0	0	20
⑩預金を切り崩している	439	37.3%	682	22.1%	110	2	2	45
⑪生命保険を解約した	90	7.6%	148	4.8%	25	1	0	10
⑫これ以上、切りつめられない	382	32.5%	399	12.9%	49	1	0	25
⑬家族に支援してもらう	103	8.8%	146	4.7%	29	1	0	10
⑭このままでは受診できなくなる	247	21.0%	115	3.7%	21	0	1	7
	1177	100.0%	3092	100.0%	1567	38	5	1297

今まで通り受診していると回答した人の重複回答

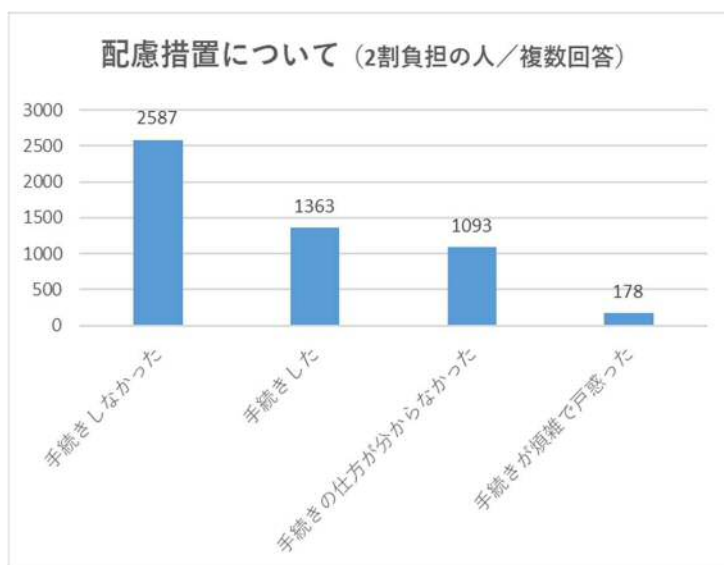


②受診をためらうようになった	353
③受診回数・薬を減らした	136
④介護費用を削った	44
⑤健診・検診をやめた	166
⑥食費を削った	605
⑦水光熱費を節約している	1053
⑧交際費を削った	855
⑨趣味をあきらめた	479
⑩預金を切り崩している	1038
⑪生命保険を解約した	200
⑫これ以上、切りつめられない	690
⑬家族に支援してもらう	231
⑭このままでは受診できなくなる	265

当事者の声（物価高騰、暮らしも大変）

- 物価が上り買い物するたびに驚いています 小さなリンゴ1個200~250円 フルーツ制限 年金は上らず…防衛費より年金へ
- 食品の値上がりがすさまじくて困る
- 公共料金が非常に高くなり支払いが大変です。今月から下水道代は、30%も高くなると云う。先の見通しが見つからないのが不安です。
- 長びく不況と物価高騰、そして年金受給者にとって生活するうえでの根源となる年金をも削減され、日々食費を切り詰めつつ無駄を出さない無駄使いしないというやりくり生活です。
- 多くもない年金収入にもかかわらず、税金が重圧。近年の物価高騰で、貯金がどんどん目減り。日々食品の買物価格が怖いくらいに上昇し、不安で仕方ない。高齢で働く事も出来ないし安心して暮らす事が難しい。なんと時代になったのだろうか
- 主食のお米が昨年の倍の値段になり、あらゆる物が値上りし、その上、ガス、水道、電気も、生命にかかわる、医療費迄、国は何をしているのでしょうか。なさけなくなります。年金が5万、6万円の人達に死ねと言うのでしょうか。
- 節約しても限界です

配慮措置について



75歳2割 6,365から無回答1,725を除く

	手続きの仕方が分からなかった	手続きが煩雑で戸惑った
手続きしなかった	448	38
手続きした	16	46

配慮措置について (自由記載欄より)

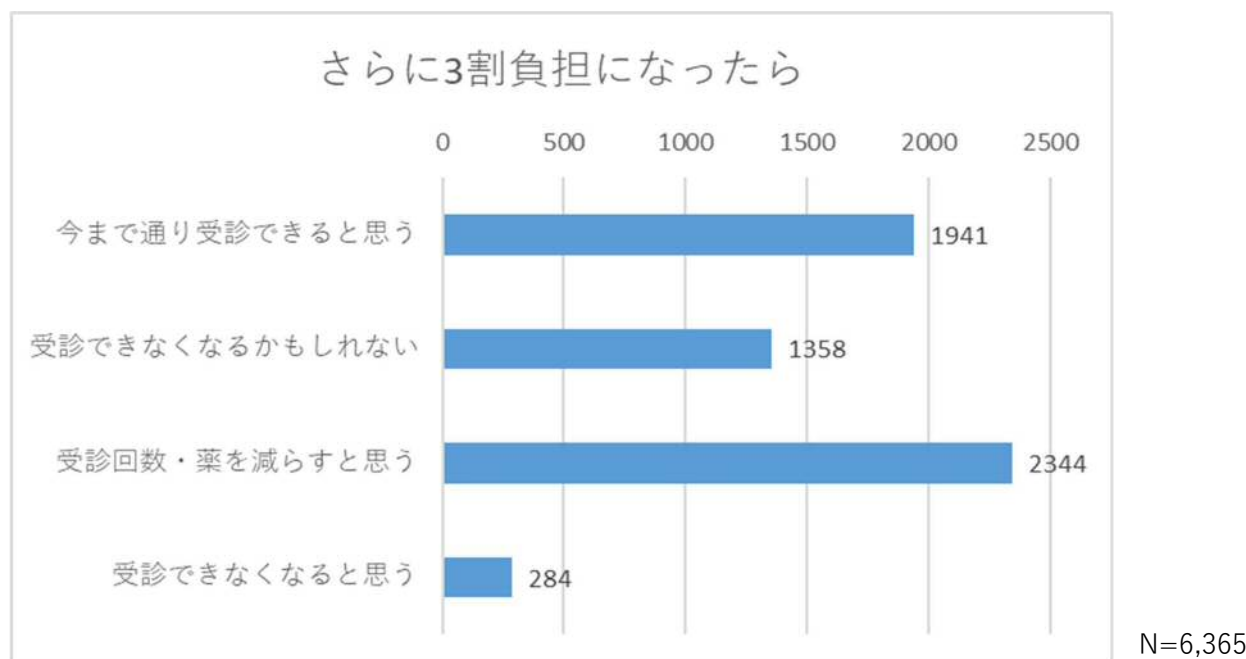
「3年間の**配慮措置の手続きを知らなかった**。1割負担に戻してほしい。」

「あらゆるものが驚く程値上がりしている現在、医療費の2割は痛切にひびきます。**配慮措置も9月で終了**と思うと、ますますこの先どうなるかと、**受診控えするしかない**かなと。」

完全に2割負担になったら (複数回答)



さらに3割負担になったら（複数回答）



当事者の声（2割負担が限度、3割負担になったら）

- なんとか**2割負担が限度**。夫婦で3割負担は、きついです。3割負担は、高額所得者のみにしてほしい。
- **2割負担が限度**と思う。年金生活の支出で負担が重く感じるのが医療費であり、現行2割負担をMAXとする制度設計での対応を望む。
- 2割負担でもしんどいのに、**3割負担とは考えられない、ありえない**。
- **3割負担になったらやっていけない**。2割負担でもなんとかやっているのに高齢者に厳しい医療のように感じる
- 3割になったら今まで通りには受診できない。**早くあちらへ行けということか？**
- 3割負担にするのではなく**窓口負担ゼロにするべきだ**と思います。安心して老後を過せるようにしてほしい。そのための予算措置は軍事費を増加しなければ可能です。

当事者の声（保険料も介護保険も負担）

- 介護保険料も後期高齢者医療保険料もとても高い。もっとひき下げてほしい。今、高額療養費の改悪もされようとしている。あまりにもひどいやり方に怒りを覚えます。命を大切にす政治を心から求めます。
- 年金削減され一方介護保険は増え、更に物価は上がる一方、最悪ですね！！まじめに生きて来た現年寄りに対して大変失礼な話ばかりです。
- 物価高で生活が大変。200万円の年金で2割負担は苦しい。年12万円も支払う後期高齢者保険は高い。要介護3以上でないと施設に入れないなんて、介護保険はサギ保険だ！
- 介護保険や医療保険の月々の負担がとても重く、ひどいレベルだと思う。年金から天引きをどんどんやっていて悪いほうに勝手に進めているように思います。

75歳以上の1割負担の人の声（医療費が負担）

- 1割以上になると、受診出来なくなると思う。
- この先75才以上の1割医療費を続けて下さい。2割になりましたら受診回数及薬を減らすようになります。
- 今以上に医療費が増えたら病院にかかるのが大変になると思う。
- 申し訳ないけど1割負担でいけたらいいです
- 年をとると、医者に行くことがふえるのに、負担を多くされたら、死ぬというのと同じ。
- 老人が多くなりすぎたのでしかたがないと思う これ以上子孫に負担させてはならないと思う 国の借金を増やさない様にした方がよい。

75歳以上の1割負担の人の声（暮らしも厳しい）

- 物価高、少額年金者は生活できない。
- このまま物価高が続くと1割負担でも重くなります。
- 足が悪くてバスでは通えないために、介護のタクシーを利用しているが交通費も結構かかる。光熱費も値上がりした。ストーブはつけていますが、その分節約のために、夜、TVをつけている時は電気はつけずにTVの灯りだけで生活しています。
- 年金でギリギリの生活です
- 窓口負担が多くなると、食費を切り詰めなければならなくなります。若い人にはあまり迷惑かけたくないです。

75歳以上の3割負担の人の負担感

- 3割はキツイ
- 後期高齢者医療費3割負担、物価高騰、高齢者いじめ。医者に行くたびに1万円用意していく。きついです。
- 私も主人も3割負担です。主人はあまりお金をつかわないけど、私は内科、外科、ともに、毎月通院して、とてもお金が、かかります。医療費たまりません。
- 昨年8月から今年7月まで3割負担になり、医療機関の受診をこの間は控えています。今月の8月以降に2割負担になるので、その時期を待っています。病気にならないように心がけていますが不安はあります。4兆円医療費削減、絶対に許さない！
- 年収が3割負担となる最低限でした。収入がもう少し低ければ2割負担なのに・・・と忸怩たる思いをしているところです。
- 医療費3割負担と同時に、介護保険料、3割負担、とても大変です。一定の収入はあるとはいえ、他の税を納めるので、生活は大変です。
- 3割で大変です。収入もないなか医療費で生活が苦しい。負担軽減をお願いします
- 通院に利用していたバスが廃止になり、タクシー利用となり困っています。医療費は減らせません。通院手段がなく痛手です。

74歳以下の人の負担感

- 現在66歳、年金生活者ですが3割はかなり大きい。すでに入院など経験しているが、それだけで一か月分の暮らしが飛ぶ。これからもっともっと医療費がかかる年齢になるのにどうしたものかと先行き不安な日々である。
- 1月で薬代2万2千くらい~3万。年金から差し引くとつらい。物価も上がっているため生活費から切り崩している。今後不安。
- 年金生活で医療費負担が大きい。持病あり、医療費控除の申請も面倒です。物価高もあり医療費も高く高齢で余裕ある生活ができない。
- 親の介護の負担が多くその為だけに苦しい感じ。
- 電気、ガスは節約（暖房は使っていない、布団乾燥機のみ）。風呂はシャワーのみになった。食費も激安スーパーのみになりつつある。情けない生活になって、不安が増している。
- 物価も上って、年金での生活はきびしいです。医療費だけでも無料にしてもらえると早目に病院にかかれるかと思えます。
- この冬電気代を節約する為に、エアコンの使用をかなりおさえました。心も、身体も行動も縮こまった様に思えます。

『高齢社会白書』（内閣府）にみる高齢者の生活実態

表1-2-1-11 高齢者世帯の所得

区分	平均所得金額 (平均世帯人員)	平均等価可処分 所得金額
高齢者世帯	304.9 万円 (1.54)	221.1 万円
その他の世帯	656.0 万円 (2.62)	325.9 万円
全世帯	524.2 万円 (2.22)	295.9 万円

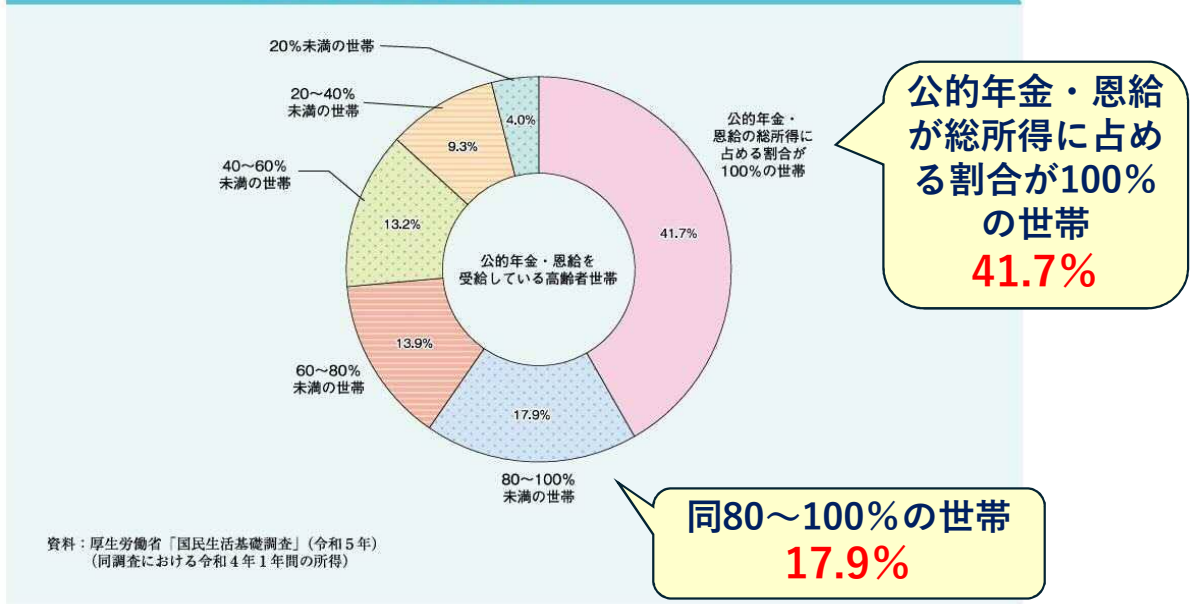
資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」（令和5年）（同調査における令和4年1年間の所得）

（注1）高齢者世帯とは、65歳以上の者のみで構成するか、又はこれに18歳未満の未婚の者が加わった世帯をいう。

（注2）その他の世帯とは、全世帯から高齢者世帯と母子世帯を除いた世帯をいう。

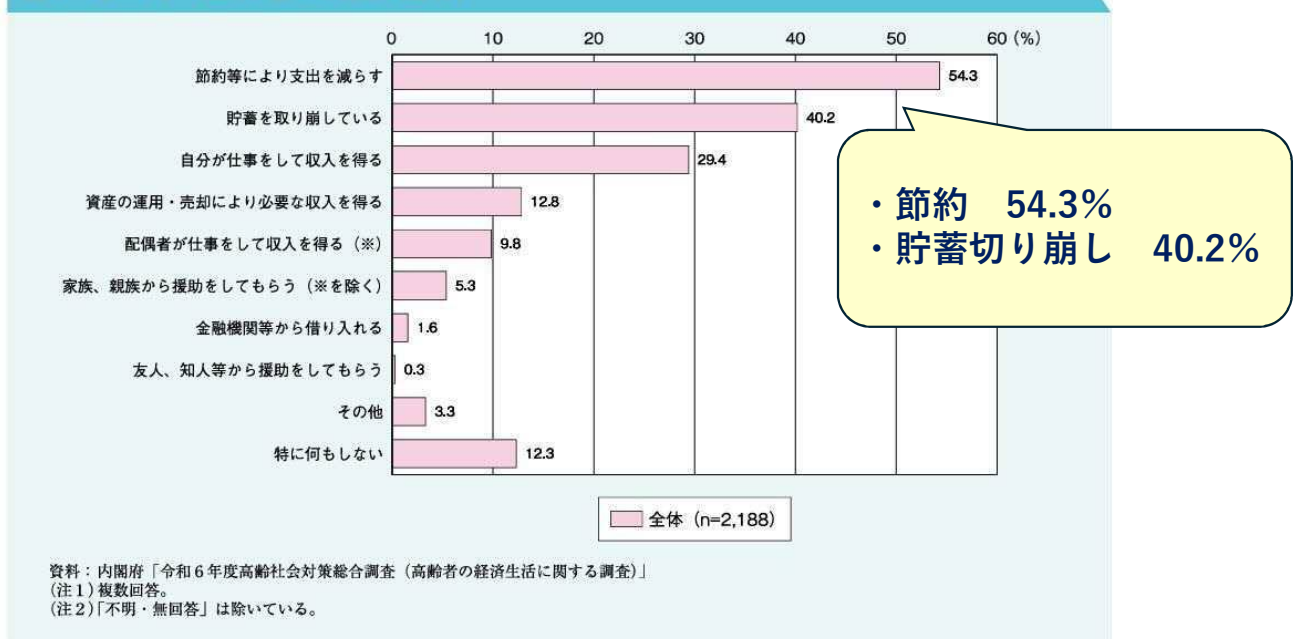
『高齢社会白書』（内閣府）にみる高齢者の生活実態

図1-2-1-13 公的年金・恩給を受給している高齢者世帯における公的年金・恩給の総所得に占める割合別世帯数の構成割合



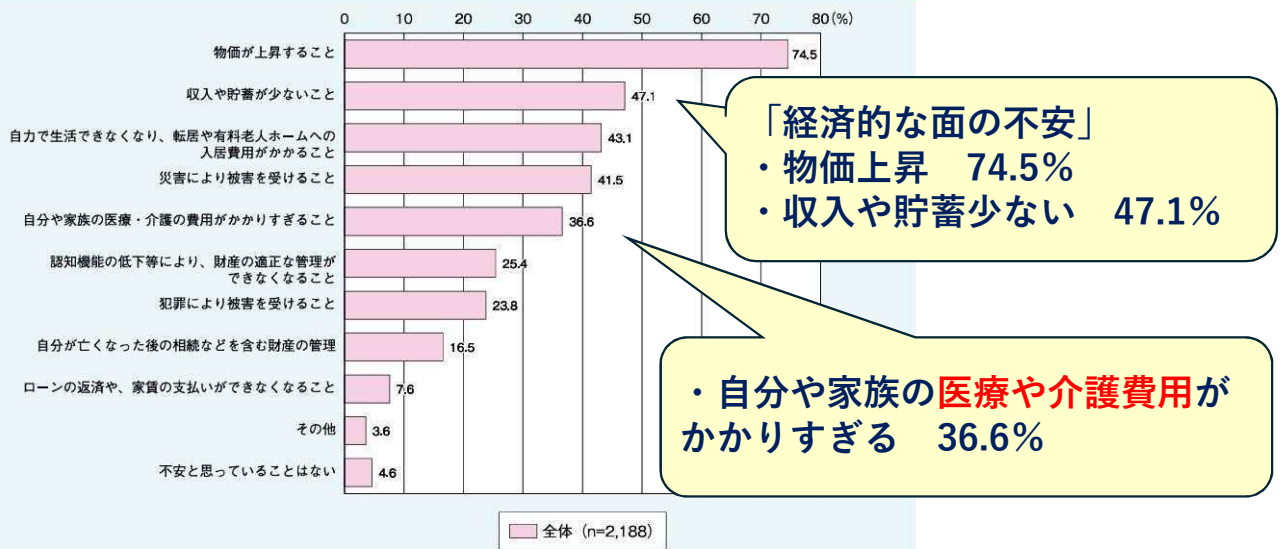
『高齢社会白書』（内閣府）にみる高齢者の生活実態

図1-3-18 収入不足への対応（全体）



『高齢社会白書』（内閣府）にみる高齢者の生活実態

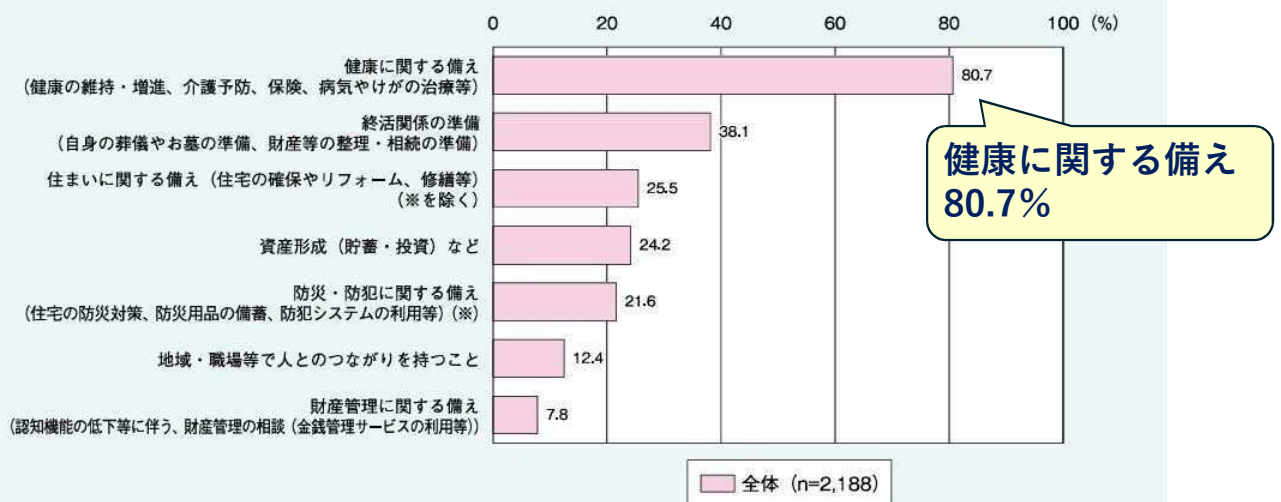
図1-3-20 経済的な面の不安（全体）



資料：内閣府「令和6年度高齢社会対策総合調査（高齢者の経済生活に関する調査）」
 (注1) 複数回答。
 (注2) 「不明・無回答」は除いている。

『高齢社会白書』（内閣府）にみる高齢者の生活実態

図1-3-24 老後のために必要だと思う備え（全体）



資料：内閣府「令和6年度高齢社会対策総合調査（高齢者の経済生活に関する調査）」
 (注1) 当てはまるものを3つまで回答。
 (注2) 「不明・無回答」は除いている。

高齢者にこんな訴えをさせないために

「年金が生活保護ラインより少し上なので、厳しさが身に染みます。妻は年金額がわずかなので、仕事を止められたら離婚して生活保護を受けようか、その方が安心できると話しています」

「高令者に長生きしてもらってはこまる政府 江戸時代のように（百姓は）生かさぬように殺さぬようにを思い出す」

「お金の切目が命の切目にならよう願います」

民医連の要請書 2025年9月17日に厚労省へ提出

【要請事項】

1. 後期高齢者の窓口負担割合2割化実施に伴って実施された配慮措置について、2025年10月以降も継続すること
2. 配慮措置を継続した上で、高齢者にわかりにくい配慮措置の手続きを簡略化し、対象者がもれなく手続きできるようにすること
3. 高齢者の生活実態を踏まえて、これ以上の一部負担割合は引き上げないこと。2022年実施前的一部負担割合に戻し、さらに一部負担金の徴収をやめること



2025年9月17日

内閣総理大臣 石破 茂 様
厚生労働大臣 福岡 資麿 様

全日本民主医療機関連合会
会長 増田 剛



【要請書】

後期高齢者の窓口負担割合2割化実施に伴って実施された配慮措置の継続を求め

これ以上負担割合を引き上げないように求めます

2022年10月に後期高齢者の窓口負担割合が見直され、課税所得が28万円以上かつ「年金収入+その他の合計所得金額」が、単身世帯の場合200万円以上、複数世帯の場合合計320万円以上の方は、窓口負担割合が2割となりました。見直しに際し2割負担となる人については、2025年9月30日までの3年間は、1ヶ月の外来医療の負担増加額を3,000円までに抑える「配慮措置」が講じられました。

しかし、この見直しの直後に、わたしたち全日本民主医療機関連合会の加盟事業所の患者や地域住民を中心にアンケート調査を行ったところ、医療費負担の重さを訴える声が8割に達しました。「配慮措置」についても、高額療養費として事前登録した口座に後日払い戻すという高齢者にはわかりにくい制度で、手続きが煩雑な上に周知が十分とはいえず、上記アンケートではこの措置を「知らない」という回答が半数を超えていました。

この度、「配慮措置」終了とされる2025年9月30日を前に、改めて加盟事業所の患者や地域住民にアンケート調査を実施し、15,735人から回答を得ました。うち2割負担の後期高齢者は6,365人で、その中で医療費負担が「とても重い」「重い」と回答したのは3,814人と、6割近くにのぼりました。

今までどおり受診を継続していたのは4,708人(74.0%)でしたが、中には「受診をためらうようになった」人も676人(10.6%)いました。この間の物価高騰の影響も大きく、医療費負担が生活を圧迫して、「食費を削った」823人(12.9%)、「水光熱費を節約している」1,346人(21.1%)、「預金を切り崩している」1,280人(20.1%)でした(複数回答)。

中には、配慮措置がなくなり完全に2割負担になった場合、「これ以上、切り詰められない」856人(13.4%)、「このままでは受診できなくなる」391人(6.1%)との回答もあり、治療中断などが起きかねない実態も明らかになりました。同時に、配慮措置の手続きの仕方が分からなかった人、手続きしていなかった人が合わせて3,680人(57.8%)にのぼりました。

さまざまな基礎疾患や慢性的な疾患を抱える高齢者にとって、服薬を減らしたり食事を減らしたりすることは、命にかかわります。経済的な理由で受診をためらうことなく、安心して医療を受けられるようにするために、以下、要望します。

記

1. 後期高齢者の窓口負担割合2割化実施に伴って実施された配慮措置について、2025年10月以降も継続すること
2. 配慮措置を継続した上で、高齢者にわかりにくい配慮措置の手続きを簡略化し、対象者がもれなく手続きできるようにすること
3. 高齢者の生活実態を踏まえて、これ以上の一部負担割合は引き上げないこと。2022年実施前の一部負担割合に戻し、さらに一部負担金の徴収をやめること

以上